

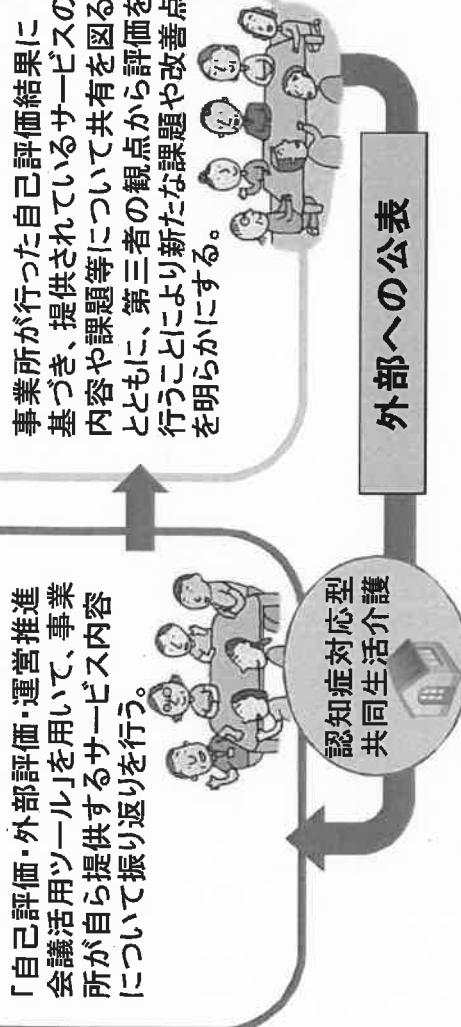
認知症対応型共同生活介護 運営推進会議での自己評価及び外部評価

- 認知症対応型共同生活介護事業所は、自らその提供する認知症対応型共同生活介護の質の評価（自己評価）を行い、これを運営推進会議においてチェックし、公表することができる仕組みとする。
- その上で、客観的な評価能力を担保するため、「第三者による評価」として行う運営推進会議には、構成員として市町村や地域包括支援センター等の公正・中立な立場にある第三者を参加させることを求める。

自己評価

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

N. o.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	外部評価 記述	記述
I. 理念・安心に基づく運営								
…	…	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない					
…	…							



外部評価

評価の確認項目

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 26 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 |
| 事業所と地域とのつきあい | 27 日々のその人らしい暮らし |
| 運営推進会議を開催 | 28 食事を楽しむことのできる支援 |
| 市町村との連携 | 29 栄養摂取や水分確保の支援 |
| 身体拘束をしないケアの実践 | 30 口腔内の清潔保持 |
| 虐待の防止の徹底 | 31 排泄の自立支援 |
| 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 32 入浴を楽しむことができる支援 |
| 契約に関する説明と納得 | 33 安眠や休息の支援 |
| 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 34 服薬支援 |
| 運営に関する職員意見の反映 | 35 役割、楽しみごとの支援 |
| 就業環境の整備 | 36 日常的な外出支援 |
| 職員を育てる取り組み | 37 お金の所持や使うことの支援 |
| 同業者との交流を通じた向上 | 38 電話や手紙の支援 |
| 本人と共に過ごし支えあう関係 | 39 居心地のよい共用空間づくり |
| 馴染みの人や場との関係継続の支援 | |

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| Ⅳ 本人暮らしの状況把握・確認項目
(利用者一人ひとりの確認項目) | 40~42 本人主体の暮らし |
| ケアマネジメント | 43~45 生活の継続性 |
| 思いやり意向の把握 | 46~48 本人が持つ力の活用 |
| チームでつくる介護計画ヒモニタリング | 49 総合 |
| 個別の記録と実践への反映 | |
| 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | |
| 地域資源との協働 | |
| かかりつけ医の受診支援 | |
| 入退院時の医療機関との協働 | |
| 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | |
| 急変や事故発生時の備え | |
| 災害対策 | |

外部への公表

認知症対応型
共同生活介護